

〔知念富信議員 登壇〕

○1番 知念富信君 通告書に従いまして、3点質問をしたいと思います。まず、1. 城間町政20年間の総括を問うということで質問をいたします。城間町長は5期20年間、南風原町を発展に導いてくださいました、ありがとうございます。衷心より感謝を申し上げます。南風原町は隣町村との合併もせず、今日に来ていますが、いろいろな施策を打って、人口も右肩上がりにふえ、若い人たちが移り住んで、今日では沖縄県で一番若いまちとなっております。子供たちを育てる環境が整い、活気のあるまちとなっていることに、町長の手腕が発揮されたおかげであります。本当にありがとうございます。あとは次期町長にバトンタッチするわけですが、私なりに町長の功績を紹介しますと、中央公民館建設の高率補助実現の英断、国による不発弾処理費用を民間工事まで無料化したこと、医療費を中学校卒業まで通院・入院の窓口無料化を実現された事業等、一部を紹介しましたが、町長から総括をお願いしたいと思いますので、質問をいたします。

（1）5期20年間の公約で印象深く、実現できた事業は何ですか。（2）公約を実現できなかった事業はありますか。（3）南風原町発展に寄与した功績は大きい将来に託す要望はありますか。

2. 南風原町観光事業の今後を問うということで質問をいたします。沖縄振興特別推進交付金、一括交付金が毎年減少に転じています。4年連続の減で、一括交付金の平成24年度の制度創設以降、最も低い額となっています。平成26年度1,759億円の予算が平成30年度は1,188億円で、571億円も減額されている。ちなみに、平成29年度から平成30年度において、顕著に予算が減額されています。平成29年度対前年度275億円の減、平成30年度170億円の減になっていて、一括交付金、7年間でこれだけ減額されるのは、知事が国と基地問題で対立しているからではないでしょうか。本町でも一括交付金が約2億円減額され、本年の一括交付金は基本枠で4億5,600万円です。南風原町の観光協会も一括交付金活用の事業が多くあります。観光事業の減額は、事業運営に多大な影響が懸念されますので質問をいたします。

（1）観光費で1,170万円減額されている。沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）が毎年減額で先が見通せない状況にあるが、観光協会の運営をどのように考えているか。

（2）南風原町観光発信施設建設計画はどのように考えているか。（3）南風原物産展を名古屋グランパスのキャンプに合わせて開催しているが、場所、開催日の変更はないか。

3. 那覇市南風原町環境施設組合の森林公園の進捗状況を問う。（1）森林公園の建設計画、総事業費を問う。（2）事業計画が進んでいない原因は何か。（3）公園の運営計画はどうなっているか。（4）森林の希少植物調査等はされているか。以上3点でございます。よろしくお願いいたします。

○議長 宮城清政君 町長。

○町長 城間俊安君 知念富信議員に、20年間のことに対して感謝申し上げたいと。私も一貫して「子どもたちには愛を、若者には夢と希望を、お年寄りには安らぎを」と、これは私の信条として約束してまいりました。さまざまな行政課題を解決するため、町政運営にも誠心誠意、全力で取り組んでまいりました。特に印象深く、実現できた事業として、2000年の九州沖縄サミットにおいて、カナダ首相、ジャン・クレティエン首相を招致したということが一番大きな、私が町長に就任したときに、当初の一番印象が強いものがあります。と申しますのは、その当時、九州沖縄サミットのときに、新聞報道で見たときに、町民からG8のどこかの大統領か首相を招いてみたらどうかと、招く事業はないのかと。そのときに声が上がったのは、あちこちの市町村、例えば宮古の上野村であれば、ドイツとの難破船の問題でつながりであるとか、宜野座村はイタリアとのつながりがあるとか、いろいろの市町村もありましたが、私たち南風原町は何か印象に残るつながり、厳しいなと。そのときに、とにかく私たち町民も要望があるのであれば努力をしてみよう。そのときに、まず大統領、首相が招致できなければ奥さんでもいいのではないかと。そのときに南風原町に琉球絃の里として、着物をつけさせることも大事ではないかと。そういう印象から始めて、でもどこか招致したいということで職員も一丸となって考えている中においては、やはり一番競争率の低いところをやろうというときに、今までカナダというところは私は遠いかなと、余りカナダという国も関心がなかったのですが、しかしながらカナダの首相、南風原町は沖縄県で環境の問題が一番すぐれていると。そういえばカナダも環境はすばらしいと。そういうことから、招致をするのはカナダにターゲットを絞ってみよう。そのときにカナダのことを考えたら、アイスホッケー、カナダの国技である。これから結びついて、南風原町のカナダの国技ができるアイスホッケー場が沖縄県で

3月20日（第5号）一般質問

は唯一、南風原町にしかないのではないかという思いで話を進めさせていく中において、それだけではインパクトが弱いのではないかということはあったが、しかしながら歴史は、今まで歴史があるから招致するのではなくて、歴史は今からつくってもいいのではないかと。歴史は今からつくっていいこうという発想でそのとき行動を起こして、職員も、また町民も商工会と連携しながらやって、そのときにカナダ誘致に対して動いたのが大きなねりとなって、カナダ大使館に招致の足を運んだり、さらに行動を起こすときにカナダを訪問してみようと。招致のために町民が行ってもいいのではないかと。「ただし、20万円以下の費用で行けるように旅行社と連携ができないか」と職員に申し上げたら、旅行社と連携しながら5泊7日、4泊6日。4泊6日は5万6,000円、5泊7日は18万2,000円だったのかな。その中で行けると。そうであれば、18万円というのは北海道に行ける費用と余り変わらないのではないかと。そうすれば町民に呼びかけしてみようということをやって、商工会と連携しながらやった皆さん方が、100名ツアーを募っていいこうしたら1団体ふえて211名の皆さん方がカナダを訪問して、これが大きなインパクトを与えて、一番最初にカナダの首相を南風原町に足を運ぶことにつながったのかなと。その中において今、カナダから送られた石というのは、石は溶けてなくなるものではないと。そういう面では、本当に大きなインパクトが強いのは、これを一過性で終わらせたのではなくて、子供たちがカナダのアルバータ州のレスブリッジと姉妹都市を結んで、今子供たちを1年越しにミドルスクールに体験入学させたということは、大きなインパクトを強く持っておりま。さらに、4大プロジェクトの中において黄金森公園の整備であり、また文化センターの整備、さらにまた総合保健センター、防災センターの整備と、津嘉山北土地地区画整理事業の推進という。さらに、那覇南風原クリーンセンター、これに対しても先ほど申し上げましたが、那覇と南風原との信頼関係を失いつつあったのを、これを今のすばらしいクリーンセンターの建設に結びつけたというのは、やはり那覇市と南風原町が連携しながら、住民に対して職員も一丸となって説得しながら、住民の皆さん方の理解を得たということが私は印象に残っているし、また各種証明書のコンビニ交付、これに対して私は、沖縄県内で一番最初にコンビニ交付でもできるようになったという証明書。職員の皆さん方は、成せば成る、また汗をかけば町民に利益をもたらすものだという思いで職員の皆さん方が一生懸命頑張ってコンビニ交付をやったというのは、私は大きな印象だなと。また、冒頭、議員からもありますように、子供たちの医療費の現物給付というのは、やはり貧困の、また子を持つ親としても皆さん喜ばれているし、また、これに対しては南風原町を高く評価しているという、町内外からもそういう声が聞こえます。このインパクトがついて県も現物給付の問題に今度の10月からとあるが、まだまだ就学前までだということである。今後も県も変わっていくのではないかと。思って、コンビニ受診と医療費の問題。さらに、不発弾の問題等においては、職員に長年汗をかかせたと。これに対して行動を起こして再三再四、国会議事堂の中においても、沖縄県では不発弾が見つかったら「危険」だと表示して放置されておりますと。土嚢で囲んで「危険」だという表示で不発弾は処理される間、ありますと。これに対して東京の国会議員の前で、「東京都で不発弾が見つかって、土嚢で囲んで危険だという表示だけで都民に許されると思いますか」と私は国会で申し上げました。そうしたら私は、「沖縄県は許されるものではないが、これが現実だ」と。「そういう状況だから、不発弾が処理される間、ただ土嚢で囲むのではなくて、処理機を処理される間は確保することが大事ではないか」と。「今の状況だったら不発弾をいつでも持ち運びできるよ」と。「これが現実。一つ凶悪事件がありましたよ」と。「不発弾を抱えて、金づち持って、そういう凶悪事件があったということも現実あるよ」と。「そういうことになりかねないから、やはり不発弾が処理される間のこれはちゃんと真剣に考えてもらいたい」と強く訴えた結果が今処理費、不発弾の処理庫、ライナープレートと。いうのができたというのは本当によかったと思っております。国の責務でやるべきだと訴え続けたのが、これが現実にはできたというのは本当にありがたいと思っております。特別交付税に入っているとか言っていたが、私はいつも特交に明細はきちんとされていないから、まやかしのしか私は見えないということを強く申し上げてやったら、今処理費は国が90%、県が5%、95%の補助事業となったのが、一番私は大きく印象に残った視点なのかと。いろいろありはするが、今すぐパッと思いついたのは以上であります。

その中において、2点目の公約を実現できなかった事業はあるのかと。3点目の町発展に寄与したものであります。が、(2)、(3)は関連します。ので、一括してお答えしたいと思います。平成10年の就任以来、さまざまな課題解決に取り組んでまいりました。これまで施策が展開できたこともひとえに議員の皆さん方、また国、県を初めとする関係機関、職員、町民の皆さん方の理解と協力のおかげであり、心から感謝申し上げたいと思

3月20日（第5号）一般質問

ます。これまで私が掲げた公約については、やや多目に達成したと自負しておりますが、今後も引き続き子育て支援、教育の充実を図り、福祉向上、産業振興等、町民ニーズに応えた事業を実施し、住みたいまち、住み続けたいまちとして南風原町が発展していくことが一番大切であり、また20年間行政運営の責任者として感じたことは、日々、住民の声も変化してまいりますので、山積する行政課題として住民ニーズを100%解決することは非常に困難であるということでもあります。しかしながら、これも職員、また議員の皆さん方が一丸となって、これに対して住民の皆さん方に喜ばれるような行政にしたいということが残されておりますので、残された課題としては、新たに発生してくる課題解決については、後任、次の方にまたバトンタッチをしたいと。こういう面で私は、残されたあと一月でありますから、これに対しては全力を尽くしてまいりたいと思っております。それに対しては、議員、町民、職員、皆さん方に対しては本当に感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

次、2点目からは担当のほうにお答えさせてもらいたいと思います。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城敬宝君 それでは、大きい2番の南風原町観光事業の今後を問うということで、(1)の答弁ですけれども、平成30年度予算の厳しい予算状況を熟慮した上で、沖縄振興特別推進交付金を活用した観光協会の5事業を3事業へ再編することで集中的にマンパワーと予算配分を行い、メリハリのついた事業展開を執行するためのものがあります。また、本町の観光事業や観光協会の収入基盤はまだ脆弱であることから、今後も自立・経営基盤強化に向けた事業の取り組みが行えるよう、協力的サポート・連携が必要不可欠であると考えております。

(2)の答弁ですが、平成27年度から平成28年度で基本構想・基本計画を作成し、平成29年度以降に展示プランや運用プランを検討・整理した後、基本設計等を検討する旨を以前にも答弁しましたが、運用プラン等の調査・研究が重要であることから、運用プランに対する調査の検討を行ってまいります。

(3)の回答であります。今後の南風原物産展の開催や場所、規模を含めて町商工会と話し合っていきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 それでは3. 那覇市南風原町環境施設組合の森林公園の進捗状況についてでございます。まずは1点目です。環境の杜ふれあい公園の建設計画は、近隣公園として還元施設「環境の杜ふれあい」その背後地に平成26年度から平成30年度の事業期間で、面積3.6ヘクタール、主な施設として園路広場、休養施設、遊戯施設、運動施設、教養施設、便益施設、管理施設を計画し、総事業費10億3,000万円となっています。

2点目の計画進捗が進んでない原因でございますが、平成29年度末で進捗率は、事業費ベースで44.1%となっています。事業の進捗おくれは、地権者死亡に伴う相続のおくれや用地価格の乖離等によるものでございます。

3点目の運営計画はどうなっているのかということでございますが、運営管理方法としては、本町、那覇市、環境施設組合で構成する「那覇南風原クリーンセンター周辺地区まちづくり推進協議会」で協議していくことになります。

4点目の当地の希少植物調査ですが、還元施設基本・実施設計業務委託の「緑の森基本構想」（平成17年12月）において、現公園予定区域の調査を行っております。環境省の国内希少野生動植物種及び緊急指定種一覧に該当する植物は確認されておりました。以上です。

○議長 宮城清政君 1番 知念富信議員。

○1番 知念富信君 どうもありがとうございました。町長、20年間も町政を担っていただきまして、本当にありがとうございました。答弁でいろいろと述べてもらいましたが、20年間ということで、1年1年の積み重ねのところではいろいろな施策を打って出て、それを達成しております。その報告をいただいておりますけれども、その中でも私も印象に残るのは、中央公民館を達成できたのが大きいかなという感じがしまして、これは国の経済振興という施策だったと思いますが、早期に一つの事業があるんだったら予算を配分しますという感じの何かあったと思います。そのときのあれが9割ぐらいの補助があったと思いますけれども、そのあたりの概要を、町長のほうから答弁をお願いしたいと思います。

○議長 宮城清政君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 今手元に資料がないのであれですけれども、たしか事業費4億円ぐらいでスタートいたしました。そのとき、まち交、4割補助の事業でスタ

3月20日（第5号）一般質問

一トしておりました。事業費は4億円でしたが、委員会等の意見を聞きますと、どんどん規模が、当初は既設の規模程度ということでしたけれども、やはりそれでは新しい需要に応えられないということで委員からの意見も出まして、ホール、そして舞台等、設備をもっと大きくしなさいということもありました。それでいろいろな施設を見てきたけれども、規模としては11億円とか、15億円ぐらいの規模が必要ということでごさいます。それがたしか概算で11億円ぐらいの事業規模になったかなと思っております。それぐらいだったと思います。それで、確かに国に緊急の経済対策というようなものがあって、それで事業としてはほとんど9割補助ぐらいに近いようなもので完了したかと覚えております。数字としてははっきりはしませんけれども、そういう状況だったと思っております。

○議長 宮城清政君 1番 知念富信議員。

○1番 知念富信君 そうですね。本当に9割ぐらいの補助率で中央公民館ができたということに関しましては、職員の努力もさることながら、町長が一つの情報を得て、職員にこれを是非実現したいという形で、町長の英断がこういう一つの大きな物件をつくったという感じで、私は大分評価したいと思っております。町長、その完成後に舞台のほうも、いろいろな音響関係とか、また追加工事をやっても1億円ぐらいの町の財政であれだけの大きなきれいな中央公民館ができていますので、そういう面では町長の功績は大きいかなという感じで思っております。

それと、不発弾処理においても今発言がありましたけれども、公共はずっと町長が国にお願いしておりましたけれども、民間工事においてもその恩恵を受けていますよね。そのあたり、答弁をお願いします。町長。

○議長 宮城清政君 総務課長。

○総務課長 儀間博嗣君 民間工事においても、今手元に資料がないからはっきり言えないんですが、平成24年か26年のときに、民間工事を行う前に事前の磁気探査などにも補助が受けられるような制度改正となっております。

○議長 宮城清政君 1番 知念富信議員。

○1番 知念富信君 普通の住宅を建てる場合に磁気探査とか、いろいろやりますけれども、その民間にも適用範囲が広がったおかげで、今農地とかでも皆さん、結構その適用を受けている状況がありまして、大変農家からも喜ばれている状況があるんですよね。やはり自分の土地に、畑に不発弾が眠っていないかなど。農耕地が半年ぐらい休みとかあった場合に、これを申請してやっていると結構ありまして、そういう面では本当に大きな功績になっているという感じで、城間町長は毎回毎回、自分の信念を通してやったことが実を結んでおりますので、本当に感謝したいと思います。本当にありがとうございます。1番は終わりたいと思います。2番に行きます。

(2)、(3)は関連して、一括で答弁をいただいております。その中でもこども医療費の中学校卒業まで通院・入院の無料化、窓口無料化で県内で一番早く実施したことは、子を持つ親にインパクトを与え、子を持つ親が南風原町へ移住されて、待機児童がふえた背景になっておりますけれども、そのあたりは町長として、その待機児童のうわさ、ある面喜んでいますが、また待機児童で悩んでいるところがありますけれども、そのあたりの感想がありましたらよろしく願います。

○議長 宮城清政君 町長。

○町長 城間俊安君 第1に、県から一番若いまちは南風原町だということになっているというのは、子を持つ親も若い人たちが南風原に移り住んでいることに対して、一つには環境の問題、また利便性の問題。利便性があるから南風原町に住みたいと。プラス、医療費の無料化というのは、これも大きなインパクトを与えたなど。これに対して私は、医療費だけの問題なのかなと思ったら、子供さんの生命保険に関しても、南風原町と他の市町村とは同じ保険であっても金額が違うと。南風原町の子たちは中学3年生まで無料化だから、生命保険もその分は費用がかからないから、その分は他市町村よりは同じ保険であっても削減されている。これに対しては子を持つ親、子供さんだけではなく、周りにも波及効果は大きいんだなということを痛感する中において、しかしながら、このように子供たちを大事する姿勢において、毎年毎年、何回も申し上げるんですが、待機児童解消のために定数をふやしたり、園をふやしたりしているが、しかしそれ以上に転入者が、子供さんがふえるということは、私は南風原町にとって大きな励みだと。また、喜ばしいことだと思っております。人が寄るということは、これだけ活気がある。活気があるあかしだと思っております。しかしながら活気がある中において、これだけに甘んじることなく対応できるような体制。ことし園をふやしたから甘んじるのではなくて、それ以上にふえたら、

3月20日（第5号）一般質問

これを解消するためにまた園を、ことしも新年度予算は2園であります、しかし方針は3園ふやしていこうと。その中において県から3園目を認めていけば、また臨時会でも開いて、これに対して提案していこうと。そういう面で、私は保育園の問題で頭を抱えるというのは、うれしい抱え方ではなかろうかなと。待機児童がふえるということは励みになる。努力をする以上に園児がふえるということは、私は南風原の明るいあかしだと思って喜んで、行政も職員の皆さん方も、これに対して努力をして解消していこうという思いでありますので、是非これからも頑張っていきたいと思います。

○議長 宮城清政君 1番 知念富信議員。

○1番 知念富信君 町長、本当にご苦労さまであります。町長が子育て支援で頑張っていますが、また教育の充実も図られて、今電子黒板も小学校、中学校全教室に導入されておりまして、学習の充実を図り、県下でもトップクラスの成績となっていることに、本当に感謝をいたします。本当にありがとうございました。これで（1）、（2）、（3）を終わりたいと思います。

大きな2番に行きたいと思います。南風原町の観光事業の今後を問うということで質問をしておりまして、平成30年度、観光費で1,170万円減額されております。これは一括交付金が毎年減っている状況でありまして、その中で観光協会の平成28年度の収支決算書を私、一応もらいましたけれども、その中の収入が5,993万円あります。その内訳で受託事業収入が3,150万円、町の補助金が1,376万円という形で、合計しますと4,500万円ぐらいあって、あと別の補助金もありますけれども、一括交付金と町の補助金が大きなウエートを占めていると状況であります。運営には大変厳しいものがあるかなという感じで思っております。一括交付金が7年目を迎えています。10年ということでありましたので、あと3年ぐらいでなくなる可能性もありますが、一括交付金がなくなったとして、どのような事業を持っていこうと。ほとんど受託事業は一括交付金が多いんですけれども、観光協会としてはどのような事業で自活の運営をしようとしているか、そのあたりの答弁をお願いします。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城敬宝君 観光協会の事業でございますが、平成29年度は5事業をやっております。そのうち平成30年度予定として2事業減にして、3事業に絞ったということになっております。その中で絞ったのは南風原地域発信力強化事業委託料ということ、これはビューリーズですが、これは自主事業ということで次年度はやっていく予定でございます。また、かすり道景観活性化プロジェクト、これは公民館を利用したプロジェクトですが、これにつきましてはしまじまガイドのほうに一人ふやして、イベント等は継続してやっていくということで考えております。今3つの事業に絞ってきているわけですが、これは観光協会といろいろ協議を重ねて、一括交付金も平成24年度から平成33年度までということ、ちょうど平成30年度が7年目となるわけですので、今年度からそろそろ絞っていくべきではないかということで、いろいろ絞った結果が、この事業に絞った結果となっております。平成33年度までしかないと思われることから、これからまた、もっと絞っていく必要があるのかなとは思っておりますけれども、民泊とか、しまじまガイドも結構成果も出てきておりますし、またヒーローまちづくりも形が見えて、この前劇団「海」もありましたように、そのように成果も出てきておりますので、もう少し絞っていく必要があるのかなと、今のところは感じております。

○議長 宮城清政君 1番 知念富信議員。

○1番 知念富信君 今、だんだん絞ってきていると。受託事業を絞ってきて、5事業を3事業に持ってくるという感じで2事業減らしている状況であります。やはり事業が減ってきている状況で、観光協会の収入がダウンしてくるという感じになってきましたら、どうしても町の補助金が今1,376万9,000円ですと推移していますけれども、このあたり、やはり補助金を上げないといけないのかと私は思うんですけれども、その受託事業が減ってきて、町の補助金は同じ金額で推移した場合には自活では、観光協会は成り立たないと思うんです。そのあたりはどういう感じで思われますか。ふやすことはできませんか。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城敬宝君 町からの補助金は、事務局長とか、職員3名分の主に給与とか、福利厚生費等となっております。やはり協会を運営するに当たっては、最低限必要な補助金だとは思っております。今後も運営する上では必要だと思っております。受託事業のほうは、どうしても一括交付金を利用しているわけですので、これはこの事業がある間かなと思っております。また、協会としては自主事業も行っておりますので、ケータリングとか、あるいは夏休みのキッズパークとか、いろいろな事業もやってはおりますので、

3月20日（第5号）一般質問

それでの収益事業も昨年度は約750万円ぐらい上げておりますので、そういうのも今後もっとふやすような努力が必要だと思っております。

○議長 宮城清政君 1番 知念富信議員。

○1番 知念富信君 わかりました。（1）は終わりたいと思います。（2）に行きたいと思いますが、南風原町観光発信施設建設計画はどのように考えているかという感じで質問をいたしましたら、平成27年度、28年度で基本構想・基本計画を作成するという感じで答弁をいただいております。その基本計画はもう計画されたんですか、答弁をお願いします。

○議長 宮城清政君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城郡浩君 基本構想・基本計画のほうは策定して、平成28年度に答申を終えるという形で計画をしております。

○議長 宮城清政君 1番 知念富信議員。

○1番 知念富信君 答申をやる予定。まだ答申はされていない状況ですか。

○議長 宮城清政君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城郡浩君 済みません、歯切れが悪くて。答申は完了しております。以前の一般質問にも質問がありましたが、平成29年度以降に運営方法等をしっかり検討した上で、基本的なプランから実施のプランに移っていくという答申を受けております。

○議長 宮城清政君 1番 知念富信議員。

○1番 知念富信君 運用プランを検討するという感じでありますが、南風原町観光発信施設建設計画は、町としては実現可能という感じで今取り組んでいらっしゃるんですか。それともまだ計画の段階で、これからまだ精査しないといけないという感じの段階ですか。どちらですか。

○議長 宮城清政君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城郡浩君 観光発信施設について大きな考え方として、いろいろな観光事業、それから金城哲夫等を発信していくという形の中での、施設だけのプランになっていません。いかに南風原町をピーアールしていくかという部分についての構想等も含まれております。実際、聞いているところについてはハード的な部分でどうかというところが趣旨のように聞こえますが、基本計画・基本構想の中で、ハードの部分については津嘉山の区画整理地区を中心に検討をしていました。しかし、答申の中でもっと大きな見地で運用プランも考えつつ、発信施設については検討すべしということになっていきますので、我々は引き続き、実際、観光発信施設を運用するためにどういうことが必要なのかという検討を踏まえた上で、今後もその辺を整理していくという形で、これからは頑張っていきたいと考えています。

○議長 宮城清政君 1番 知念富信議員。

○1番 知念富信君 是非頑張ってください。私も委員の一人でありましたけれども、答申がどの段階まで来ているのか見えなかったものですから、その質問をいたしました。

（3）に行きたいと思います。南風原物産展を名古屋グランパスのキャンプに合わせて開催しているが、場所、開催日の変更はないかという感じで質問いたしましたら、開催場所は希望を含めて商工会と話していきたいという感じでありました。平成30年度の名古屋グランパスの春季キャンプ、2月4日から2月10日までの7日間のキャンプで、3試合のトレーニングマッチ試合が1万人ぐらいの来場者があったとのことで評価しております。この物産展、今イオン南風原店で開催していますけれども、私としては南風原中央公民館とか、そのあたりに移してもいいのではないかと。町民的な祭りにすればどうかなという感じの提案でありまして、例えば南風原まつりはことしありますよね。来年はないと。その来年にこういう物産展を開きまして、南風原まつりでも物産はありますので、だったら商工会に関しては毎年やっている感じがありますけれども、何か大きなジャスコとか、ああいうところでやれば大きなイベントとしては集客力があるので、成功しているような感じには見えますけれども、町民のまつりであるのかなという感じで見受けられるんですよ。やはり中央公民館とかでやれば、完全に町民がほとんど来て、町外からも見えると思いますけれども、やはり町民がやっているまつりにふさわしい感じがある。ただああいふデパートでやると、なかなかそれが見えないという感じがありまして、そのあたりはどうかという提案でありますけれども、どう思いますか。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城敬宝君 今後の物産展のあり方といいますか、それについてですが、去る3月13日に実行委員会がございまして、その入場者数のほうが前年度が2万3,000人、今年度が3万8,000人ということで、約1万5,000人の人がふえたという結果が

3月20日（第5号）一般質問

出ております。アンケート調査の結果から見ますと、屋内でやったほうが効果があったのではないかと。結局、天気は左右されないということで、特に当日は非常に寒かったということと、前年度も非常に冷えておりました。そういうことで、やはり屋内ということと、来客数がふえたのかということが予想されます。委員の中からは、次年度もできれば屋内の方がいいですねという、準備、片づけがしやすいということと、やはり接客が非常にしやすいという意見がいろいろ出ておりました。これが今後、商工会と協議してやるのかやらないのか。今年度は補助金もついておりませんので、商工会独自でやるのか、実行委員会方式でやるのかについては、今後また商工会と話し合っていきたいと思っております。

○議長 宮城清政君 1番 知念富信議員。

○1番 知念富信君 今、名古屋グランパスのキャンプ連動して開催していますけれども、そのあたりは例えば時期をずらすのか、デパートでやるにしても時期をずらすのか、同じにしたほうがいいのか、そのあたりの検討課題はあると思いますので、そのあたり、ひとつ考慮をお願いいたします。

大きな3に行きたいと思います。森林公園の建設計画、総事業費を問うということでありまして、平成26年度から30年度が事業期間となっておりますけれども、なかなか進捗が見えないという感じがありまして、事業費の10億3,000万円は那覇市の100%出資なのか。また、那覇市が南風原町に還元する金額は幾らなのか。そのあたり、昔の覚書きで環境施設組合の建設費の還元で環境の杜もありますけれども、残ったお金がまだあります。そのお金で100%の出資でやるのか、そのあたりの内容説明をお願いしたいと思います。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 答えいたします。環境の杜関連でございます。まず環境の杜ふれあい、これは那覇市が約11億円。那覇市は15億円を還元施設へということでございましたので、今回の公園は那覇市が、真水の部分です。単費で4億円、南風原町1億5,000万円。公園は2分の1の補助をいただいて、それから起債をして、その裏負担に充てると。あとは事務費もその経費で充てるということになっております。

○議長 宮城清政君 1番 知念富信議員。

○1番 知念富信君 これは2分の1の補助というのはどういう補助ですか。一括交付金は活用されていないわけですね。答弁をお願いします。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 これは都市公園の事業です。国の補助事業ということになっております。補助率2分の1です。

○議長 宮城清政君 1番 知念富信議員。

○1番 知念富信君 わかりました。その中で公園の建設で休養施設とか、運動施設、教養施設、便益施設とか、いろいろな施設がありますけれども、箱物関係というのはどういう感じの、例えば子供の箱物があると。こういう感じで遊べるとか、そういう施設もありますか。計画の内容がわからないものですから、そのあたり、何かわかるんだったら教えてください。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 まず、公園の地域の皆さんからのスタートの基本となる考え方が、できるだけ面を大きく確保してほしいと。墓地とか、その他のいわゆるマイナスのイメージになるような事業が入ってこないように、基本的にはできるだけ面を大きく確保して、施設は最小限でもいいというのからスタートでした。今のご質問のいわゆる箱物ですね、これは基本的にトイレぐらいだと思います。便益施設。あとは東屋のようなものとか、運動施設にしても何もウエートトレーニングのようなものではなくて、宮城公園の広場にある鉄棒とか、懸垂ができるものとか、腰をひねるものとか、ああいったイメージですね。あとは遊歩道とか、そういうことでありまして、きちんとした箱物というのはございません。

○議長 宮城清政君 1番 知念富信議員。

○1番 知念富信君 わかりました。どうもありがとうございます。（2）に行きたいと思います。平成29年度の進捗率は、事業費ベースで44.1%となっておりますが、用地取得状況は全体で44.1%の中にどれぐらい入っているかどうか、お願いします。

○議長 宮城清政君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 答えします。計画区域に18画地ありまして、現在7画地が未買収ということになっております。その中で3.6ヘクタールのうちの2万4,000平米等については今、計画内にあるんですが、この7画地、1万1,473平米が、いまだ買収ができていないということです。以上です。

3月20日（第5号）一般質問

○議長 宮城清政君 1番 知念富信議員。

○1番 知念富信君 わかりました。その未買収のところが、地権者の死亡に伴う相続のおくれや地権者の用地価格の乖離によるものという感じで回答をいただきました。本当にありがとうございました。これで質問を終わりたいと思います。ありがとうございました。